

小説

安楽死特区

ベストセラー医師による、 初の本格医療小説! 発売即重版!

東京オリンピックが終わり、疲弊してゆく我が国で、
病を抱え、死を願う男と女が、国家の罅に堕ちていく……。

2024年、日本で 「安楽死法案」可決!?

Nagao Kazuhiro
長尾和宏

本体1400円+税

「尊厳死」と「安楽死」がまったく違う概念であることを、どれほどの人が知っているだろうか。人生の終わり方について、真剣に考えるきっかけとなる書。

石破茂 (衆議院議員)

主要登場人物は誰もがミステリアスなドラマを抱えており、誰を主人公に据えても映画が成立してしまう。「ハットマン」のジョーカーがゴロゴロ存在するような作品で悩ましい。

高橋伴明 (映画監督)

国家は、安楽死法案を通そうと目論んでいますよ。
社会保障費で国が潰れそうだからです。
それならば、長生きしたくない人に早く死んで
もらったほうがいい、そう考えています。(本文より)

死にたい、と願うのはエゴですか?
生きていて、と望むのは愛ですか?